

## 上手な薬の使い方①

### 赤ちゃんは？

水薬はそのまま、粉薬は熱湯でなく少量の湯冷ましで団子状にして上あごにこすりつけ、その後、水、湯冷まし、ミルクなどを与えます。溶かすときは一口で飲める量にします。

ミルクに混ぜると味が変わって、子供がミルク嫌いになることがあります。  
ミルクに薬を混ぜることはお勧めしません。



上あごに

スポイトで横から流す

スプーンで

### 幼児は？

水薬も粉薬もなるべくほかのものに溶かさず、そのまま与える習慣をつけましょう。薬を嫌がる時は、本人が納得すれば何に混ぜてもかまいません。

- ★ 牛乳、ヨーグルト、アイスクリームなどの乳製品に混ぜてみましょう。苦い味が和らぎます。
- ★ スポーツドリンクやジュースに混ぜると、かえって苦い味が強くなってしまうことがあります。
- ★ 粉薬を水に溶かし、凍らせて与えてもよいでしょう。
- ★ 溶かして飲むときは、少量で飲みきれぬ量にしましょう。
- ★ 薬局にゼリー状の飲み物がありますので相談するのもよいでしょう。

### 「1日3回」って？

食事にとらわれず、起きている時間に同じ間隔で3回を目安に飲ませましょう。

例) 1回目 朝8時ごろ      2回目 昼2時ごろ      3回目 夜8時ごろ

### 「食前？食後？」

食後は満腹で飲まなかったり、食べたものと一緒に吐いてしまうことがあります。なるべく授乳直前や食前に飲ませましょう。また、食事がとれないときでも、薬は必ず飲ませましょう。

★★ 薬を飲ませる時間は、薬剤師の方によく聞いて帰りましょう。★★

## 上手な薬の使い方②

### ざやく 坐薬の使い方

- ・坐薬を水でぬらし、手で握ると薬の表面がヌルヌルになります。
- ・仰向けに寝かせて両足を上げた姿勢にして、坐薬を肛門に差込みます。
- ・指が少し肛門内に入る程度まで入れ、肛門入り口を押さえてください。
- ・入りにくい時はオリーブオイル・ベビーオイルをつけると滑りやすくなります。
- ・挿入後20分間出てこなければ、薬が吸収され始め、約1時間後に効果があります。
- ・医師からの指示でカットする時は、カッター・包丁を温めて斜めに切ってください。
- ・保管場所は冷蔵庫がよいでしょう。

### ◆坐薬がいいの？飲み薬は？

- ★どちらでも効き目は同じです。吐く子には坐薬を、下痢のときや坐薬が嫌いな子には飲み薬を使いましょう。
- ★坐薬の解熱薬と、飲み薬の解熱薬は同時に使うのはやめましょう。
- ★予備に持っている解熱薬は、お子様の年齢や体重で必要な量が変わりますので注意してください。

